

平成 23 年度湖沼自然浄化活用事業について【計画案】

1. 事業の目的

湖沼の良好な水環境の構築を目指し、自然浄化機能を活用する事業（覆砂による底質からの栄養塩溶出を抑制、マクロベントスの生息可能環境を創出）を実施し、自然浄化機能の水質改善等の効果を検討する。

2. 事業の内容

(1) 保全対策の工事実施

底質からの栄養塩溶出を抑制及びマクロベントスの生息可能環境を創出するため、穴道湖に流入する河川の河口付近において覆砂工事を実施する。

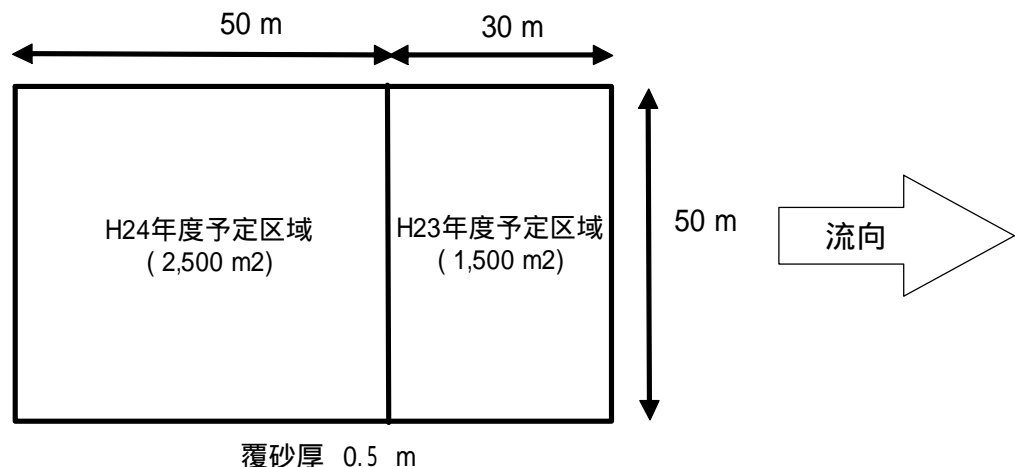
1) 事業実施場所

穴道湖に流入する五右衛門川の河口付近（詳細については、測量後、適地において実施する）



2) 事業規模

1,500 m²程度（測量後の詳細設計により、変更する可能性がある）

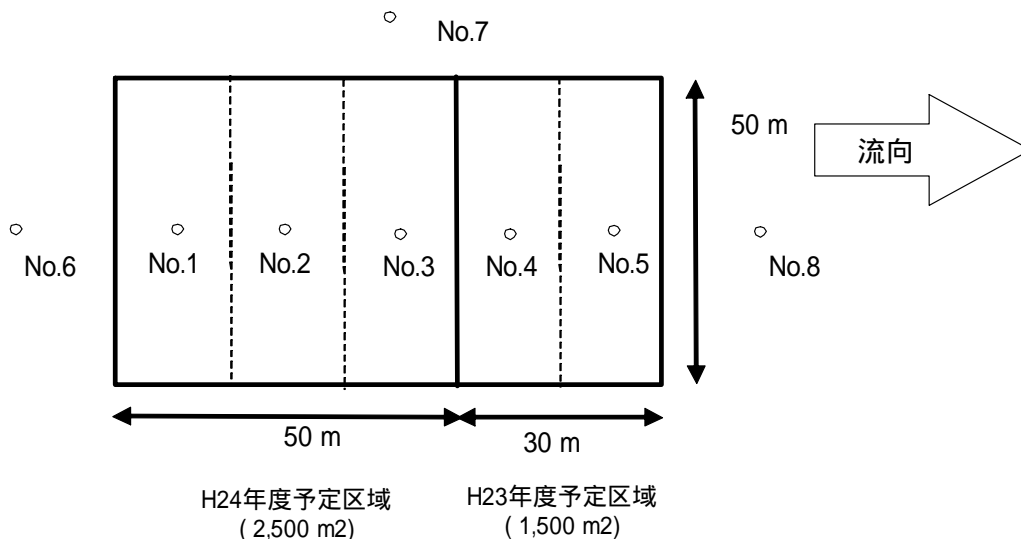


(2) 水質調査等の実施

自然浄化機能の効果検証が行えるよう、覆砂工事範囲の内外及び工事の実施前後での試料採取及び分析を行う。

1) 調査地点

覆砂区域内 5地点 (No.1~No.5) 覆砂区域外 3地点 (No.6~No.8)



2) 調査項目及び回数

水質調査		底質(間隙水)調査 生物(マクロベントス)調査	
<ul style="list-style-type: none"> 水温 透明度 pH DO COD 全窒素 全りん 	<ul style="list-style-type: none"> 塩分量 クロロフィルa 植物プランクトン 動物プランクトン 難分解性有機物 硫化水素 	<ul style="list-style-type: none"> 硫化水素 	<ul style="list-style-type: none"> 底質の泥含率 生物種の同定 生物種の個体数 生物の湿重量
月1回		2ヶ月に1回	年2回
4地点 (No.2, 4, 6, 8)		8地点	

硫化水素については、発生が予測される時期に集中的に行う予定。

3) 調査方法

JIS K0102 に掲げる方法等公定法によるものとする。その他生物調査等定めのないものについては、事前に環境省担当官と打ち合わせを行い決定する。

(3) 報告書の作成

上記の(1)から(2)の内容を整理した報告書を作成する。

3. 関係機関との連絡及び調整

- 事業進捗の都度、関係機関と連絡を取り、必要な調整を図る。